

日本と中国

文化と外交の歴史を考える

入場無料/定員60名

講演1 14:10~

「書写一切経から版本一切経へ
宋版一切経の日本への影響」

佐々木 勇

(広島大学大学院教育学研究科教授)

講演2 15:10~

「日中両国における戦後の
外交関係と現代」

寺本 康俊

(広島大学図書館長・副学長)



日本と中国に関する二つの講演を行います。

前半の講演では、平安中期に東大寺の僧奝然(ちょうねん)が宋版一切経を中国から伝えて以来、日本の一切経が写本から版本へ転換していったことを中心に、一切経の歴史をひもときます。広島大学が所蔵する12世紀の写本、石山寺本「玄応一切経音義」も紹介します。

後半では、日本と中国の間における戦後から現代までの変化に富んだ外交関係を、日米関係や現代的課題にも言及しつつ、俯瞰します。

日時

2015年

12月13日(日)

14:00~16:15

場所

広島市立
中央図書館
3階セミナー室

広島市中区基町3-1

申込

広島市立中央図書館

Tel.082-222-5542

fax.082-222-5545

事前申込が必要です
(先着60名)